



校外・宿泊学習等が始まりました

校長 西田和弘

校外学習、宿泊学習、修学旅行などが始まり、学校ではいつものような活気が戻ってきています。その様子を間近で感じていると学校教育活動を平常化することの大切さを再確認できます。

言うまでもありませんが、宿泊学習等のねらいとして「集団づくり」があげられます。1学期の早い時期に宿泊学習を通して集団づくり活動を行い、学級や友だち同士の信頼関係や絆を深めます。同時に集団生活の大切さやそのルールの再確認という意味でもこの宿泊学習は学校教育にとって大切な取組みの一つです。宿泊学習等を終えて自信に満ちた子どもたちの笑顔を見られるのがとても楽しみです

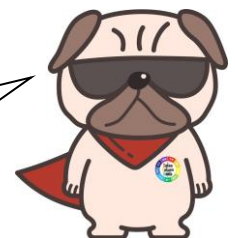
さて、先日中間テストが終わりました。5月の生徒集会で以下のような話をしました。

- 1、テスト結果だけにとらわれてはいけない
- 2、自分で結果を分析しよう（得意分野と苦手分野をはっきりさせよう）
- 3、得意分野は、もっと難しい課題にチャレンジ！
- 4、苦手分野は、復習とふりかえりを大切に

子どもたちは、どうしてもテスト結果にとらわれがちですが、結果だけではなくこの中間テストの問題を今後どのように活用するかが自分の力を伸ばすポイントになります。テストが終わったからと言って、「やりっぱなしはダメ」ということですね。

次に、小中学校PTAが協働していただき、学園PTAの初めての取組み「学園PTA講演会」が開催されます。開催内容は、児童生徒会からの学園の取組実践報告とPTA講演会です。併せて、小中学校ではフリー参観、授業参観、部活動懇談を予定しています。お忙しいとは存じますが多くの方に参加していただければと思います。

最後に「さいワン」からのお知らせです。
『本校には、セクハラ・パワハラ相談窓口があるよ。
担当の先生は「首席 福角・支援 CO 矢野」先生だから、
何か困ったことがあったら相談してみてね☆彡』



“**You can!** 終始一貫 **MEIJIKE**” を合言葉に！

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～